

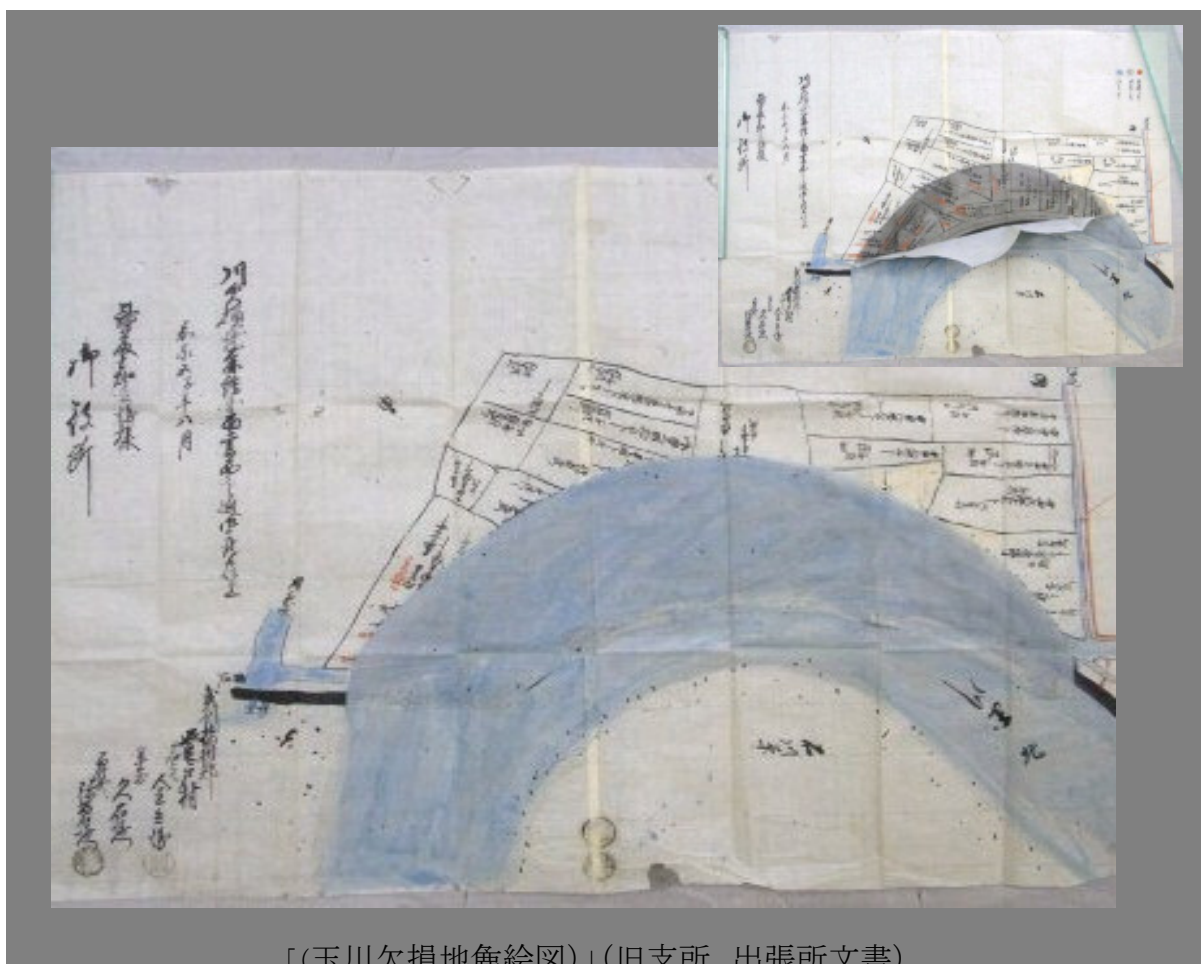
川崎市公文書館だより

~Kawasaki City Archives News~



KAWASAKI CITY

第24号 平成24年10月



「(玉川欠損地鹿絵図)」(旧支所、出張所文書)

この鹿絵図(そえず)は、嘉永5年(1852)8月に作成された橘樹郡登戸村(現川崎市多摩区登戸)を流れる多摩川の一部です。

絵図中の多摩川は「玉川」と青色で示され、大きく湾曲し登戸村の一部に入り込んでいる様子が描かれています。当時の多摩川は弘化3年(1846)の大洪水に引き続き、嘉永5年にも洪水が起こっています。その際に被害を受けた箇所は、絵図面に「川欠損地」として記され、役所へ届けられました。また絵図中では、氾濫した河川部分がめくれるようになっており、村の誰の何がどのくらい被害を受けたのかが「○ 川欠之印」で解るようになっていています。

今から160年以上前の多摩川とその周辺の姿を垣間みることができる記録です。

発行 川崎市公文書館

NEW

展示のご案内

1階ロビーの展示が新しくなりました。テーマは「近世の中原街道と川崎」です。

徳川家康が平塚市中原上宿付近に鷹狩の休憩所等に使用する御殿を設営し、それにあわせ、江戸から行くための道を整備したのが、のちに中原街道と呼ばれるようになりました。

これからの季節は等々力緑地も秋色にそまり散歩にはいい季節となります。お近くにお越しの際は、公文書館にお立ち寄りください。



平成24年度講座受講生の募集のお知らせ



平成24年度入門古文書講座

平成24年度最初の講座、入門古文書講座が8月に開催され多くの方が辞書片手に聴講しました。引き続き、講座を下記のとおり募集します。

初級古文書講座は10月19日（金）、歴史講座は10月10日（水）まで募集中です。（申し込み方法は館内受付かホームページにてご確認ください。）

中級古文書講座（1月開催）や歴史講演会（3月開催）のテーマや時間等の詳細が決まりましたら、館内ポスターやホームページなどで応募方法を含め順次お知らせします。

歴史講座 「川崎市域に暮らす人々と信仰」 講師 村上 直 氏・池上 真由美 氏・小倉 美恵子 氏
日時:11月4日/11月11日/11月18日 午後2時~4時
受講料:2,000円 申込み期間:10月10日(水)まで

初級古文書講座 「近世川崎の村々と多摩川」 講師 小宅 里美 氏
日時:11月25日/12月2日/12月9日/12月16日 午後2時~4時
受講料:2,500円 申込み期間:10月19日(金)まで

中級古文書講座 「幕末の大交通と川崎の村々(仮)」 講師 神谷 大介 氏
日時:1月20日/1月27日/2月3日/2月10日 午後2時~4時
受講料:2,500円 募集開始時期 未定

歴史講演会 「テーマ未定」 講師 村上 直 氏
日時:3月 場所:エポック中原
受講料:500円 募集開始時期 未定



聞いて損はない！？古文書の眩き②

ご無沙汰しております。古文書でございます。

前は古文書の形式について眩きましたが、今回は私たち古文書の取り扱い方についてお話したいと思います。

実は皆様に手にとって見ていただく際に、取り扱いに関していくつかの決まり事があるのです。

一、閲覧前後は手を洗うべし

汚れや薬などが古文書に付着すると汚損し、保存状態が悪くなります。マニキュアも注意。手の汚れや油は虫やカビが栄養として好みます。また古文書は清潔なものとも言い切れないので閲覧後も手を洗いましょう。
※ネズミの糞尿や害虫、カビが付着しているものがあります。

一、時計や指輪などの装飾品は、外すべし

金属や止め具が引っかかり古文書の破損につながります。

一、古文書周辺に飲み物を置かざるべし

濡れてしまうと古文書の破損やカビ発生の原因となります。

一、古文書を筆写する際は鉛筆を用いるべし

ペン類はインクが付着するので、またシャープペンシルは芯や部品で古文書を傷つけてしまうので注意。

一、優しく丁寧に扱うべし

和紙は破れやすく、また糊付けや綴じひもがもろくなっています。力を加えずに優しく扱きましょう。

他にもクリップやふせんを付けない、コピー機で直に複写をしないなどの注意点があります。

私たちが今の世に残されているのは先人たちの手厚い保存処理や丁寧な取り扱いによる賜物であります。さらに古文書はそれぞれがこの世に1点しか存在しない貴重なものでもあります。

これから私たちが多くの人に見ていただき、歴史を伝えていくことは皆様の取り扱い方にかかっているのです。

いかがだったでしょうか？これであなたも古文書通！

優しくしてね☆



公文書館の散歩道

～このコーナーでは、公文書館のまわりの風景をお届けします～



↑サッカー場へ続く道
↓市民ミュージアム



ようやく猛暑が去り、ほっとしていますが、お元気ですか。公文書館は等々力緑地の豊かな自然のなかにあります。ふるさとの森を歩いたついでに、テニスの試合や、釣り池の太公望たちを眺めたりと、散策の種には事欠きません。

地元フロンターレの試合開催日には、サッカー場へ続く通路は、ブルーのユニフォーム一色になります。試合が進むにつれ、サッカー場から割れるような歓声が上がリ、緑地全体が熱い興奮に包まれます。

また、近くにはスポーツ施設だけでなく、芸術空間・市民ミュージアムがあり、多彩なコレクションの常設展や独自性のある企画展が開催されています。これからの芸術とスポーツの季節にはもってこいのロケーションです。

等々力の散歩道にも秋の風(おさんぽびと)

◇開館時間

午前8時30分から午後5時まで

◇休館日

毎週月曜日

祝日法に定める休日（休日が月曜日に当たるときは火曜日も休館です。）

年末年始（12月29日から1月3日まで）

◇利用方法

市政資料室の資料は自由にご覧いただけます。それ以外の資料は、目録で検索し事務室にお申し出ください。

ただし、資料の外部への持ち出しはできません。

資料等の複写サービス（実費）は、館内のコピー機がご利用いただけます。

公文書の閲覧については、情報公開制度により行います。

◇交通のご案内

【バスの場合】

- JR南武線・東急東横線「武蔵小杉駅」・市バス、東急バスともに「小杉駅前」から「市営等々力グランド入口」下車すぐ
- JR横須賀線「武蔵小杉駅」新南改札・東急バス「横須賀線小杉駅」から「市営等々力グランド入口」下車すぐ
- JR南武線「武蔵溝ノ口駅」・東急田園都市線「溝の口駅」駅前（北口）
・市バス「溝の口駅前」及び東急バス「溝の口駅」から「市営等々力グランド入口」下車すぐ

【徒歩の場合】

- JR南武線「武蔵中原駅」から約15分
・「武蔵小杉駅」から約20分
- 東急東横線「新丸子駅」から約15分

公文書館を見にきてください。



お詫びと訂正

本紙22号の表紙に使われていた画像は「二子の亀屋」で、正しくは右の「亀屋旅館」です、訂正してお詫びいたします。

川崎市公文書館

〒211-0051 川崎市中原区宮内4-1-1

電話 044-733-3933 FAX 044-733-2400

E-mail 16koubun@city.kawasaki.jp ホームページ <http://www.city.kawasaki.jp/16/16koubun>